

競技・審判上の注意

1. 競技規則等について

- 1) 本大会は、2022年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。但し、プレーヤーは14名以内とする。合計12名以内の場合、リベロプレーヤーは0名から2名登録できる。合計13名もしくは14名の場合、リベロプレーヤーは2名でなければならない。
- 2) チームは監督（引率教員を兼ねることができる）、コーチ、マネージャー各1名、選手14名以内とする。
- 3) 監督・コーチは学校長の認めた者とし、マネージャーは当該校の教職員または生徒であること。
- 4) 監督、コーチ、マネージャーのマークは既定のものを各チームで用意し、左胸部につける。なお、監督は「資格認定書」をフォルダ等に入れて、審判が確認できる状態でベンチ入りすること。
- 5) 監督、コーチ、マネージャーの服装は統一していることが望ましい。
- 6) 競技ユニフォームは2色用意し、リベロプレーヤーはチームの他の競技者と異なるユニフォームを着用しなければならない。
- 7) ネットの高さは男子2m43cm、女子2m24cmとする。

2. 試合の進行について

- 1) 競技日程及び試合の設定時刻は別紙に記載した通りに行う。
- 2) 競技方法については以下の通りとする。

予選リーグは各グループのリーグ戦とする。すべて3セットマッチとし、3セット目は15点とする。8点でコートチェンジを行い、14-14の場合は2点差がついた時点で試合終了となる。（タイムアウト2回）

決勝トーナメントは3セットマッチとし、3セット目は25点とする。13点でコートチェンジを行い、24-24の場合は2点差がついた時点で試合終了となる。（タイムアウト2回）
- 3) 給水タイムについてはどちらかが13点に達したときに30秒の給水タイムを設ける。

3. 受付及びエントリー変更届の提出について

- 1) 試合開始前にエントリー用紙を提出する。各試合登録された20名の中から試合毎14名（リベロ2名を含む）以内をエントリーする。大会申込み時に登録された選手20名は変更できない。選手の追加もできない。
- 2) 申込書に記載した監督、コーチ、マネージャー、引率教員に変更がある場合はエントリー変更届に必要事項を記入し、本部に提出をすること。

4. その他（感染症防止対策）

- 1) コートチェンジの際、使用したベンチの消毒を各チームが行い、移動すること。
- 2) ゲーム中のプレー以外での接触や密集（ハイタッチや円陣など）は控えること。
- 3) コートに入る選手以外はマスクの着用を徹底し、声を出す応援はしない。また密集を避けた形で観戦

すること。(リベロ、およびリベロと交代する選手もベンチではマスクをすること。)

- 4) コートワイピングについては各チームがタオルなどで行う。(ゲーム中はコート内の選手が行い、セット間やタイムアウト時はベンチにいる選手が行うことができる。)
- 5) 試合コートでのボールを使用しているウォーミングアップは公式練習時のみとする。
- 6) ベンチには飲料水、救急用具など必要なもの以外は持ち込まない。
- 7) 体育館フロアなどで上下履きの区別を徹底すること。
- 9) 各個人がゴミの持ち帰りを徹底すること。
- 10) 各チーム試合終了後のミーティングを会場内で行うことは控えること。

以上